

第21期決算公告

令和5年6月30日

愛媛県松山市紅葉町2番27号
株式会社よんでんライフケア
代表取締役社長 竹内 直人

貸借対照表

[2023年3月31日現在]

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	142,145	流動負債	108,751
現金及び預金	44,330	買掛金	7,525
売掛金	90,710	短期借入金	20,000
貯蔵品	224	未払金	7,623
立替金	4,292	未払費用	43,075
その他	2,586	未払法人税等	307
		預り金	3,386
		賞与引当金	26,686
		その他	147
固定資産	42,853	固定負債	40,630
有形固定資産	13,694	預り保証金	396
建物	1,464	退職給付引当金	40,234
建物附属設備	1,546		
構築物	2,252		
工具器具備品	8,431		
無形固定資産	3,048	負債合計	149,382
ソフトウェア	2,768	(純 資 産 の 部)	
電話加入権	280	株主資本	35,616
		資本金	40,000
		利益剰余金	△ 4,383
投資その他資産	26,110	その他利益剰余金	△ 4,383
繰延税金資産	25,611	繰越利益剰余金	△ 4,383
その他	499		
		純資産合計	35,616
資産合計	184,998	負債及び純資産合計	184,998

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。

注記事項

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産 …… 定額法

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

従来、当社は、有形固定資産の減価償却方法について、定率法を採用していたが、当事業年度から定額法に変更している。

この変更は、親会社の四電ビジネス(株)が有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更することを契機としたものであり、当社が保有する資産について経済的便益の費消パターンを検討した結果、概ね、長期的かつ安定的に使用され、投資効果は、耐用年数にわたり均等に配分する定額法が、より経営実態を適切に反映すると判断した。

なお、当事業年度においてこの変更に伴う営業損益に与える影響は軽微である。

2. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金 …… 売掛債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(2) 賞与引当金 …… 従業員の賞与の支給に充てるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上している。

(3) 退職給付引当金 …… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上している。

3. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

グループ通算制度への移行

当社は、当事業年度より、四国電力(株)を親法人とした連結納税制度からグループ通算制度に移行している。

これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」

(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っている。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしている。

II. 当期純利益

当期純利益

6,175 千円